

全国の牛飼い母ちゃんが大集結

全国モーター母ちゃんの集い

全国の肉牛・酪農経営に携わる女性の交流を深める全国モーター母ちゃんの集いinみやざきが、7月16日、17日の2日間、総合文化ホールを中心に開催されました。県外からの参加者を含む約800人が集結。参加者らは、口蹄疫の体験談から日頃の防疫の必要性や、獣医師から元気で健康な子牛を育てる方法などを学んでいました。1分間スピーチに出演した本多京子さん（川南町）は「宮崎は元氣です。口蹄疫のときの支援ありがとうございました」と全国に向けてお礼を述べていました。



地域の力を合わせてワッショイ!

笛水夏祭り

笛水夏祭りが7月20日、笛水小中学校運動場で開催されました。昨年に続き、東北大地震の被災地の復興を願い「子供屋台村」を開設。益金を被災地へ送るプロジェクトに賛同した人たちが、手作りのしおりやはがきなど思い思いの商品を手に取り購入していました。また、会場内では、郷土芸能のべぶ踊りや地つき歌などが披露されました。夏季休暇で帰省していた中村春華さん（名古屋）は「夫の実家ですが、帰ってくるホッとしますね」と、久しぶりのふるさとを満喫していました。



子どもたちにつなぐ地域の伝統行事

種満坊地区揚げ馬祭り

県の無形民俗文化財に指定されている高城町種満坊地区の揚げ馬祭りが7月27日、諏訪神社周辺で開催されました。安土桃山時代に朝鮮出兵し、病死した北郷忠虎を、息子長千代丸が弔ったことが始まりとされる同祭りには、地元の住民ら80人が参加。殿様の名代の稚児などに扮した参加者らが歴史絵巻さながらに地域を練り歩き、境内で舞などを奉納しました。新地貴文さんは「祭りのきつかけになった出来事やその意味も勉強して参加した。子どもたちに伝えていきたい」と話していました。



暑さに負けず限界にチャレンジ!

ジュニアトライアスロン

第7回きりしまんごだジュニアトライアスロン大会が7月28日、観音池公園で開催されました。県内外から小中学生約170人が出場。競技は、水泳、自転車、長距離走を一人でこなす個人の部と、3人一組でたすきをつなぐ家族リレーの部に分かれて行われ、大人顔負けの熱いレースを繰り広げました。小学4年生の部で優勝した大嶋力くん（八代市立千丁小）は「今回はランのタイムがよかった。来年は今年の総合タイムを上回りたい」と早くも次の目標を見据えています。



世界へ飛躍「霧島ジオパーク」

世界ジオパーク現地調査

霧島ジオパーク世界推薦申請に係る現地審査が、7月28日、29日の2日間、霧島山周辺のジオサイト（地形や地質を観察できる場所）で行われました。日本ジオパーク委員会の3人が、御池や関之尾滝などのジオサイトを審査。関之尾滝では、関之尾迎え人が出迎え、ジオパークと関連した関之尾おうち穴の説明方法や地域とジオサイトとの関りについて説明していました。今回の審査を経て日本ジオパーク委員会の推薦が決定した場合、世界ジオパークへの加盟申請が可能となります。



野生鳥獣に負けないぞ！

サルサミット

野生鳥獣による被害対策を話し合うみやざきサルサミットが、8月2日、3日の2日間、高城生涯学習センターなどで開かれました。鳥獣被害対策に取り組む県内のモデル集落などから約120人が参加。島根県美郷町の鳥獣被害対策から始まった地域活性化の手法や、鳥獣を寄せ付けない集落づくりを行うモデル集落の取り組みを学びました。松田芳美さん（高城町有水）は「地域全体で鳥獣を増やす原因となる食べ物を捨てないよう取り組んでいます」と活動事例を発表しました。



大自然を思い切り満喫！

キッズボンパク

小学生の親子を対象に都城の魅力を体感し楽しむキッズボンパクが、7月27日から8月27日まで開催されました。8月4日、安久町で行われた「自然ウォーク、泥んこ遊び、川の生き物を見つけよう」には、親子30組が参加。参加した子どもたちは、田んぼに放たれたニジマスを捕まえ、慣れない手つきでさばっていました。その他に空き缶を使ってご飯も炊き、空腹のお腹を満たしていました。内田一輝君（南小5年）は「初めて魚を料理したけど上手にできた」と笑顔を見せていました。



恒久平和を誓う

戦没者・空襲犠牲者合同追悼式

明治以降の大戦の戦没者・殉職者と昭和20年の都城空襲の犠牲者を慰霊する戦没者・空襲犠牲者合同追悼式が8月6日、総合文化ホールで開催されました。式典には、遺族や関係者ら約740人が参加。1分間の黙とうの後、池田市長が追悼の辞を捧げ、戦没者、殉職者および空襲犠牲者7,333柱の冥福を祈りました。また、西小学校の5・6年生152人が平和へのメッセージを代わる代わる暗唱した後、「上を向いて歩こう」などを合唱し、平和への思いを新たにっていました。





人の風景

Smiling Faces of Miyakonojo

人のために働くことが喜び

社団法人 日本善行会
善行金賞受賞

社団法人 日本善行会 都城支部長

谷口 ミチさん



地

域のボランティア活動を40年以上続け、社団法人日本善行会の善行金賞を県内で初めて受賞したのが、谷口ミチさん（金田町・83歳）です。

子育てをしながら小学校の教員をしていた谷口さん。当時、子どもを預かってくれる保育園がなかったため退職し、子育ての傍ら沖水地区の婦人部長を引き受け、地域のボランティア活動などに積極的に関わるようになりました。

沖水小学校の子どもたちの登下校を見守り続けて18年。子どもたちの中には、親子2代にわたって見守った人もいます。

長年、地域の子どもたちの安全を見守ってきたお礼にと、下金田子ども会から手作りの感謝状をもらい「子どもたちの気持ち、何よりもうれしい」と笑顔を見せます。

交通安全活動の他に、民生委員・児童委員や補導員の活動に飛び回る日々を過ごしてきました。「人のために働くことがうれしい」と思う根底には、小さいころから両親の姿を見てきたことが大きいと言います。「長年、民生委員・児童委員や保護司などの活動をする父親と、人のために心配りを欠かさない母親の姿が目に残っています。



「今回の受賞も、私一人では無理なこと。夫や家族、周りの人たちのサポートがあったからこそ。皆さんと一緒に頂いた賞なんですよ」と、感謝の気持ちを忘れません。

これまでの活動を通して感じたことは「女性がもっと、いろいろな場所で活躍できるといい。それには、周りの人たちのサポートが必要なのです」と話します。

今後も、「健康である限り、自分にできるボランティア活動を続けていきたい」と、意欲的な活動を見据えています。

環霧島探訪

Vol.17

今月は、高原町、湧水町の物産販売所などを紹介します。

杜の穂倉

高原町にある杜の穂倉^{もりほくら}では、農事組合法人「はなどう」で収穫した、米・麦・菜種・金ごまを使用し、オリジナル商品を販売しています。栽培から収穫・加工・販売まで、心を込めて手がけていますので、安心して購入できます。また、新鮮な野菜・果物をはじめ、物産・パン・お菓子など地元生産者が栽培・製造した商品が充実しています。どれもここでしか手に入らない「杜の穂倉」だけの自慢の特産品です。



●所在地

高原町大字蒲牟田788-2

●営業時間

9時～18時

◎問い合わせ

☎0984-42-11839

観光物産販売所栗太郎館

J R 肥薩線栗野駅の切符売場隣にある観光物産販売所「栗太郎館」。平成23年12月にオープンして以来、県内外からたくさんの方の来場者でにぎわっています。



新鮮野菜はもちろん、湧水町の特産品やお弁当、工芸品などを販売しています。

また、毎月第3土曜日には「栗太郎館土曜日」を開催。特別価格の野菜や特産品、土曜日だけではない商品など、お得な商品がいっぱいあります。気軽に立ち寄りください。



●所在地

湧水町木場677(栗野駅舎内)

●営業時間

10時～16時30分

●休館日

年末年始

◎問い合わせ

☎0995-74-5690

※環霧島圏域のイベント情報を、市ホームページで紹介しています



盆地生まれの**元気**をいただきます



毎月19日は、「食育の日」

～家族そろって食事を楽しみましょう～



いもんぬた

※1人分 154kcal、塩分1g



里芋は、加熱すると消化吸収しやすくなるのが特徴です。芋類の中でもカロリーが低く、ビタミンBやCを含むので、腸の働きを助けます。



●材料（4人分）

里芋…220g 青菜（ホウレン草・大根葉など）…100g
豆腐…1/3丁 いりごま（白）…大さじ2 みそ…30g
ピーナツ粉…大さじ1 砂糖…大さじ2 酒…大さじ1
濃口しょうゆ…小さじ1 飾り用ごま…小さじ1

●下準備

里芋…皮つきのままゆで、皮をむいて適当な大きさに切る
青菜…さっとゆがき、水気を切り3cm位の長さに切る
豆腐…さっと湯通しをし、水気を切る

●作り方

- ①すり鉢でいりごまをよくする
- ②すったごまの中に、みそ、豆腐、ピーナツ粉、砂糖、酒、しょうゆを入れ、すり混ぜる
- ③②の中に、里芋と青菜を入れて混ぜる
- ④器に盛り、ごまを散らす



いもんぬたを少しつぶし、野菜（ニンジン、粒コーンなど）、ツナ缶などを加えて丸め、小麦粉、卵、パン粉を付けて油で揚げると、コロツケに変身します。

ワン!
ポイント

下ゆでした後、冷凍保存しておくとう便利です。解凍はレンジで行い、煮物に使う場合は、凍ったまま使えます。

◎問い合わせ 健康課 ☎23-2765